

資料1

東武軸連携外国人観光客誘客促進事業及び関連フォーラムについて

1. 概要

本市の観光施策においては、これまでも、広域観光の推進や訪日外国人観光客の誘客等の取組みを進めてきたが、今後は誘客数の更なる増加に加え、滞在型観光を推進し、宿泊需要や、旅行満足度、観光消費額を高めていくことが必要となっている。

その中でも、多くの訪日外国人観光客が訪れている首都圏及び日光地域とターゲットやコンセプトを共有した観光施策を実施することで、効率的・効果的な観光誘客・観光消費額の向上が図られる。

そのため、今年度、下郷町、南会津町と連携し、東北観光復興対策交付金を活用した東武軸連携外国人観光客誘客促進事業を実施し、新たな観光コンテンツの創出やテーマ性のあるモデルルート of 構築、更には地域の様々なコンテンツを案内・調整していく役割を担うランドオペレーター of 育成を進め、滞在型観光の推進や、観光消費額の向上を目指していく。

特に、自然体験を中心としたルート、歴史体験を中心としたルート等、テーマ性のあるモデルルートを多数構築し、外国人観光客の多様化するニーズに対応していく。

2. 具体的な事業内容

(1) 各市町における観光コンテンツづくり

会津若松市「サムライ」、下郷町「大内宿を中心とした歴史・文化」、南会津町「食と自然」をテーマに、各市町3つ以上の新規コンテンツを創出する。

(2) モデルコースづくり

(1) で創出したコンテンツと既存のコンテンツを結び付け、テーマに応じた東武軸モデルルートを造成する(例: ネイチャーコース、サムライコース、カメラコース等)

(3) 着地型商品の造成・販売

(2) において造成したモデルコースを基本とした着地型商品を5商品以上造成する。

(4) ランドオペレーターの育成

上述の事業を通して、会津地域のコンテンツを案内・調整していく役割を担うランドオペレーターの育成や支援を行う。

3. アドバイザー(予定)について

西谷 雷佐 氏(東北インアウトバウンド連合 理事長/たびすけ合同会社西谷 代表取締役)

青森県弘前市出身。日本商工会議所青年部主催のビジネスプランコンテストにおいて、先進的な着地型観光プランを提案し、グランプリを受賞。これをきっかけに、着地型観光に特化した旅行会社を設立し、全国から注目を浴びる。また、民間主導で「オール東北」をブランド化することを目的とした東北インアウトバウンド連合を設立し、理事長となる。

4. 観光フォーラムの開催(予定)について

本事業の取り組みや滞在型観光の推進に向けた考え方を地域事業者と共有するため、9月初旬に観光フォーラムを開催し、上述のアドバイザーを中心に、コンテンツ創出やマーケティング等の専門家による講演や、地域で先進的に活動されている事業者の取組説明を実施する。

・日時: 令和元年9月2日(月) ・場所: 芦ノ牧温泉大川荘 ・人数: 100名程度